

－中期事業計画(協創ビジョン 2029 P4)より抜粋－

(3)取組の進捗状況

7つの改革の取組状況は、次のとおりである。(2024.11.1現在)

取組内容	具体策
1_協創教育コンセプトの具体的明示	<ul style="list-style-type: none">グローカル・イノベーション・リーダーの育成に必要な4つの力の到達度を評価するためのループリック及び教科ループリックの作成及び評価教科「探究」の見直しGCP(グローバル・コンピテンス・プログラム)の導入及び実施
2_教職員研修の体系化及び具体的計画の策定	<ul style="list-style-type: none">2021年度から研修主任を置き、年間の研修計画を策定するとともに、本校の「目指す教師像」を設定し、それを実現するため、毎月第3水曜日を全教職員研修日と定め、研修時間を確保日々の授業評価及び公開研修授業の実施
3_教職員の働き方の見直し	<ul style="list-style-type: none">労働基準監督署の指導を踏まえ、「ひろしま協創中高のこれから新たな働き方」を策定し取組みを開始時間外勤務の事前申請及事前承認を徹底するとともに、承認された業務に対して時間外手当を支給(時間外勤務を認める業務①生徒対応②保護者対応、③一斉作業の原則三業務に限定)時間外勤務をしない教員にも改革のメリットが及ぶよう、固定時間外手当に当たる教職調整額を残し、その額を4%から6%に引き上げ平日に行われる部活動指導に対して定額手当を創設
4_部活動の見直し	<ul style="list-style-type: none">一斉退校日の設置土日部活動完全休養日の設定部活動顧問希望アンケートの実施
5_学校行事の在り方の見直し	<ul style="list-style-type: none">生徒の自主的、実践的な活動の場となるよう配慮するとともに、十分な準備期間を設けるよう見直し子どもたちの新たな学習成果の発表の場である「協創コンテスト」を2021年度に創設
6_広報活動の在り方の見直し	<ul style="list-style-type: none">学校ホームページによる積極的な情報提供新聞、情報誌、駅看板等のアナログな広告はすべて廃止し、Webに特化
7_人事評価制度の導入	<ul style="list-style-type: none">教育目標や年度事業計画を意識して教育活動を実践していく仕組みの一つの手段として、対話を重視した人事評価制度を2021年度から導入制度設計に当たっては、校務運営会議メンバー18人で検討・協議「めざす教師像」、「めざす職員像」の設定経験年数に応じた教職員のキャリアパスを作成

上記のとおり、教育内容を充実していくための研修制度や人事評価制度などといった「仕組みづくり」は着実に進んでいる。また、労働基準監督署の指導など間接的な要因もあったが、教職員の働き方の見直しについては、勤務時間管理を適切に行うことにより、教員の時間外勤務は大幅に減り、必要に応じて行う時間外勤務に対しては時間外勤務手当を支給するという法に基づいた本来の仕組みを整えることができた。さらに、改革に取り組むことによって、教職員が同じ方向を向いて取り組めることが増えてきたこと、これまで見えなかった課題が見えるようになってきたことなど、少しづつ本校の進むべき方向が、より明確になってきている。